

平成24年度前期 学生による授業評価アンケート集計結果

1. アンケート実施概要

(1) 目的

授業評価アンケートは、次の①～③を基本原則とし、本学の教育の質・教育効果を向上させることを目的として実施した。

- ① カリキュラムの改善につなげる
- ② 授業改善につなげる
- ③ 透明性を高める

(2) 実施期間

平成24年7月11日(水)から8月7日(火)まで (※ 集中講義は別途)

(3) 実施科目

アンケート実施率は85.9%(昨年度同期87.7%)で、回答率は79.8%(昨年度同期75.9%)であった。

科目区分	開講科目	実施対象科目	実施科目	アンケート実施率	アンケート実施科目			※ 昨年度同期回答率
					受講登録者数	回答数	回答率	
環境科学部	116	103	94	81.0%	4,595	3,444	75.0%	71.0%
工学部	104	104	102	98.1%	5,726	4,440	77.5%	77.3%
人間文化学部	140	136	110	78.6%	5,226	4,047	77.4%	74.2%
人間看護学部	50	34	34	68.0%	2,059	1,974	95.9%	92.2%
全学共通教育	124	124	121	97.6%	3,242	2,897	89.4%	85.4%
人間学	28	28	22	78.6%	2,771	2,043	73.7%	66.5%
合計	562	529	483	85.9%	23,619	18,845	79.8%	75.9%

*本年度は、国際コミュニケーション学科の開設や語学科目のセメスター制により、開講科目が26.0%増加した。

*アンケート実施率は、開講科目に対する実施率を表す。

*開講科目から実習等の科目を除き、実施対象科目としている。

*全学共通教育の開講科目のうち、国際コミュニケーション学科の英語Ⅰ～Ⅳのa.bはそれぞれ2人の教員で担当しているため、計16科目で計算している。

(4) 設問内容

設問1 この授業にどれだけ出席しましたか

- ①4回以上欠席 ②3回欠席 ③ 2回欠席 ④1回欠席 ⑤すべて出席

設問2 この授業に対するあなたの受講態度は真剣でしたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問3 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか

- ①0分 ②0～10分 ③10～30分 ④30分～1時間 ⑤1時間以上

設問4 授業内容は興味を持てるものでしたか

- ①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

設問5 授業レベルはどう思いましたか

- ①低度 ②やや低度 ③適度 ④やや高度 ⑤高度

- 設問6 授業は理解できましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問7 授業で扱った内容をより深く学びたい気持ちになりましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問8 この授業は履修の手引きの内容と一致していましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問9 教員の教え方は適切でしたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う
- 設問10 教員の教え方で優れていたところはどこですか(複数回答可)
①学生とのコミュニケーション ②授業の組立 ③テキスト・資料等の教材
④板書・スクリーン等 ⑤話し方・声の大きさ 0:特にない
- 設問11 教員の教え方で工夫すべきところはどこですか(複数回答可)
①学生とのコミュニケーション ②授業の組立 ③テキスト・資料等の教材
④板書・スクリーン等 ⑤話し方・声の大きさ 0:特にない
- 設問12 この授業の満足度は、どの程度ですか
①とても低い ②やや低い ③普通 ④やや高い ⑤とても高い
- 新規** 設問13 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して適切な処置を取りましたか
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③普通 ④ややそう思う ⑤強くそう思う

※ このほかに自由記述あり

2. アンケートの集計結果

(1) 平均ポイント (学部等別)

アンケート項目	昨年度							
	環境	工	人文	人看	全共	人間学	全学	全学
Q1.授業への出席	4.2	4.4	4.2	4.9	4.6	4.3	4.4	4.3
Q2.受講態度は真剣だったか	3.7	3.8	3.7	4.0	4.1	3.7	3.8	3.7
Q3.この授業に対する学習時間	2.6	2.7	2.2	2.6	2.9	2.2	2.5	2.5
Q4.授業内容への興味	3.5	3.5	3.7	3.8	3.9	3.7	3.7	3.6
Q5.授業レベル	3.8	3.9	4.1	4.1	4.2	4.3	4.0	4.0
Q6.授業の理解	3.2	3.2	3.4	3.5	3.7	3.5	3.4	3.3
Q7.より深く学びたくなったか	3.4	3.3	3.5	3.7	3.7	3.5	3.5	3.4
Q8.履修の手引きとの一致度	3.6	3.5	3.6	3.6	3.8	3.6	3.6	3.5
Q9.教員の教え方は適切か	3.6	3.5	3.6	3.7	4.0	3.7	3.6	3.6
Q10.教え方で優れていた点								
Q11.教え方で工夫すべき点								
Q12.授業の満足度	3.4	3.3	3.5	3.5	3.8	3.5	3.5	3.5
Q13.迷惑行為に対する対応	3.4	3.4	3.4	3.4	3.6	3.3	3.4	-

※ Q10およびQ11については、ポイント評価でないため平均ポイントは示していない。

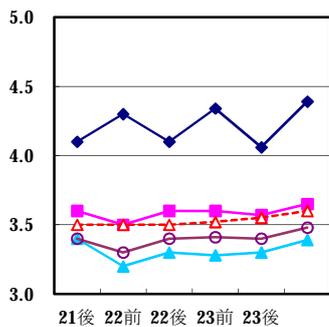
今年度前期の全学平均のポイントは、昨年度に引き続き全項目において上昇した。

(2) 平均ポイントの学期別推移 (過去3カ年)

出席・興味・理解・深化・手引きに関する学部等別のポイント

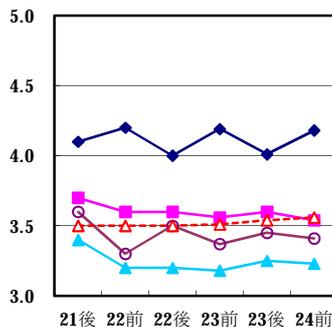


ア 全学



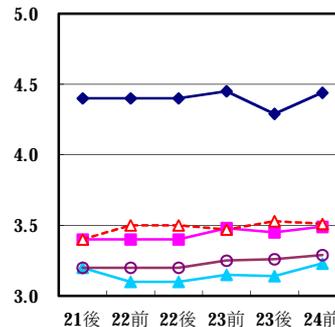
出席は、前期が高く後期が低い傾向が続いている。

イ 環境科学部



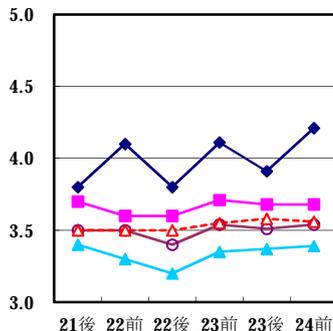
ほぼ同じような推移である。興味が前年度同期から0.1ポイント下降、手引は0.1ポイントの上昇。

ウ 工学部



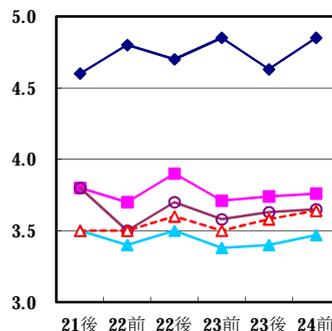
出席は23後を除き高く、深化、手引が年々上昇気味。

エ 人間文化学部



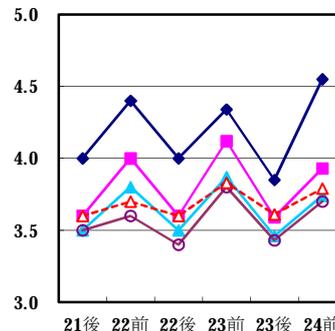
ほぼ同じような推移であるが、出席がわずかに上昇傾向にある。

オ 人間看護学部



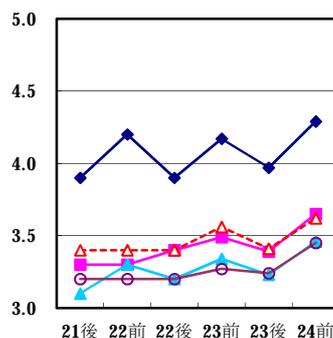
他学部 비해、出席のポイントが常に高い。

カ 全学共通教育推進機構



*23後までは、国際教育センターのデータ
単純比較はできないが、出席のポイントが上昇している。

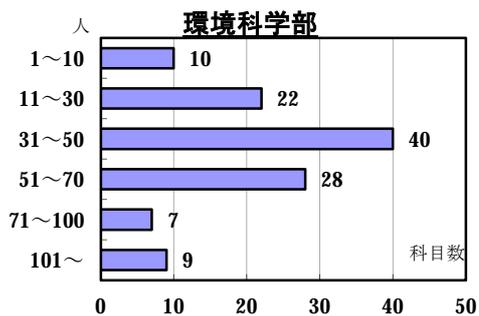
キ 人間学



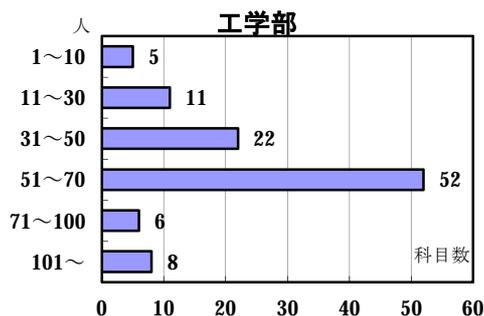
ほぼすべての項目において、上昇の傾向にある。開講科目数も年々増加している。

※ 参考（科目別受講登録者数の状況）

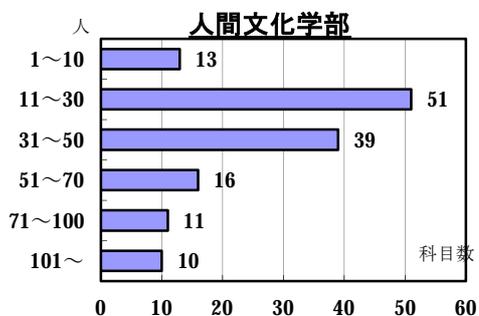
※ 前期科目のみ(通年開講科目は除く)



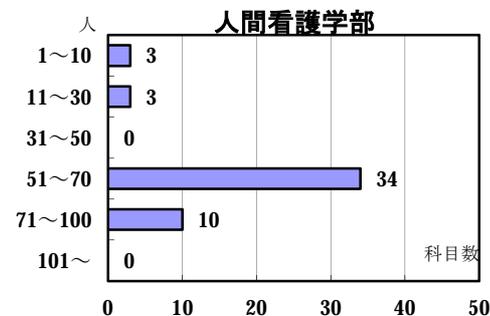
・ 平均履修登録者数 48.7人
(H23:51人)／科目



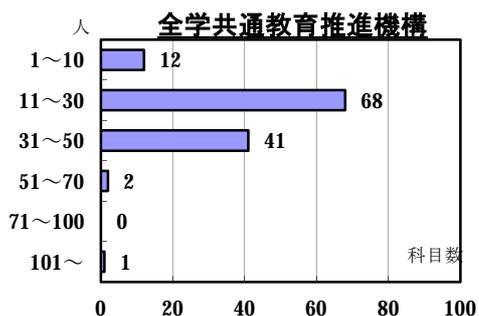
・ 平均履修登録者数 55.2人
(H23:51.6人)／科目



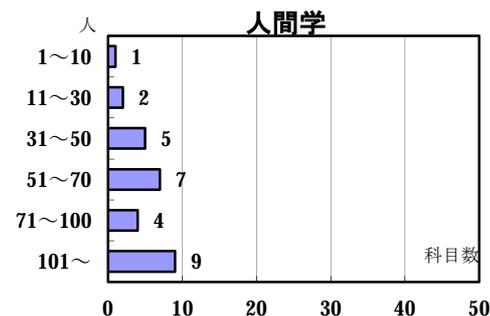
・ 平均履修登録者数 43.3人
(H23:48.1人)／科目



・ 平均履修登録者数 57.2人
(H23:55.2人)／科目



・ 平均履修登録者数 26.5人／科目



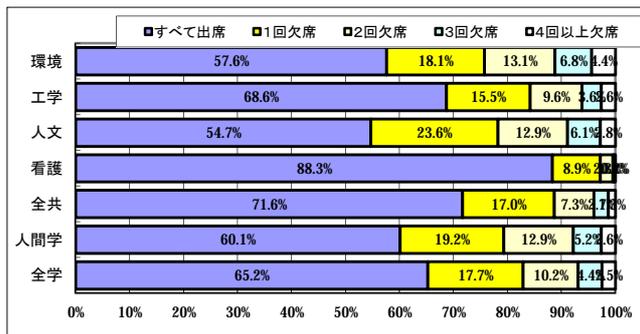
・ 平均履修登録者数 108.1人
(H23:114.7人)／科目

工学部の1科目当たりの履修登録者数の平均は前年度同期**51.6人**→今年度**55.2人**と増加している(H22は**58.3**)。環境科学部、人間文化学部、人間学においては、減少している。

なお、履修登録者数が10人以下の科目は、全学で**45科目**(H23:**28科目**)、(環境**10**、工学**5**、人文**13**、看護**3**、全共**13**、人間学**1**)で前年度同期から大幅に増加した。

(3) 項目別結果 — 学部等別 —

設問1 この授業にどれだけ出席しましたか

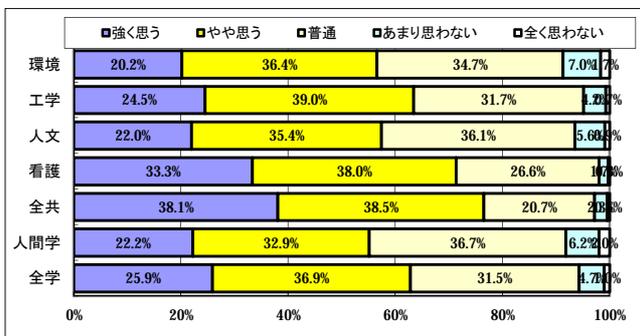


全学では「すべて出席」の授業が60%を超えており、中でも人間看護学部の出席率が高い。

全体的には「すべて出席」が前年度同期に比べて増加している。

3回以上欠席するものは、環境科学部を除き1割以内となっている。

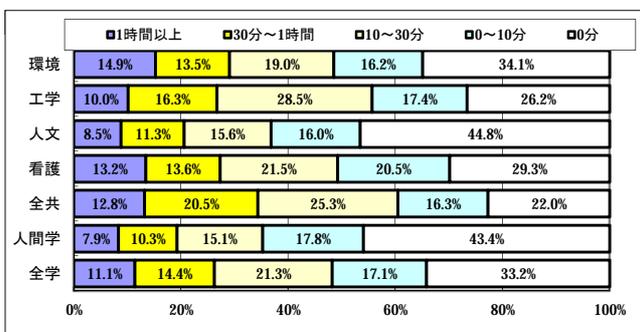
設問2 この授業に対するあなたの受講態度は真剣でしたか



受講態度は62.8%が「真剣」と回答している。

前年度同期と比較して、「強く思う」と答えた割合が、多くの学部で上昇した。特に、人間文化学部、人間看護学部、人間学において昨年比約4%の上昇が見られた。

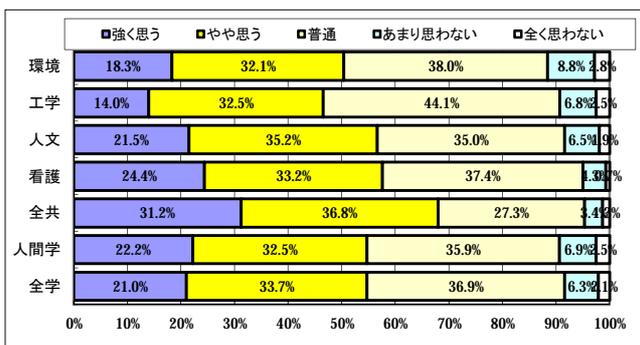
設問3 この授業のための学習に毎週どれだけの時間を使っていますか



全学結果では、わずかであるが学習時間の増加傾向が見られる。

特に全学共通は、国際教育センターとの単純比較はできないが「0分」とする割合が65.8%から22.0%になった。逆に、人間学においては「0分」の割合が増加した。

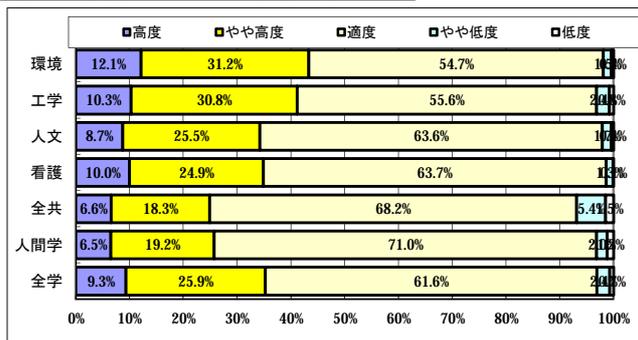
設問4 授業内容は興味を持てるものでしたか



約半数は授業に興味を持っていると回答しているが、約1割に興味がないとする科目も存在する。

全体の回答分布としては、前年度同期とよく似た回答となったが、人間学や人間看護学部においては「強く思う」と答えた割合が増加し、全体的に「あまり思わない」と回答した割合が減少している。

設問5 授業レベルはどう思いましたか

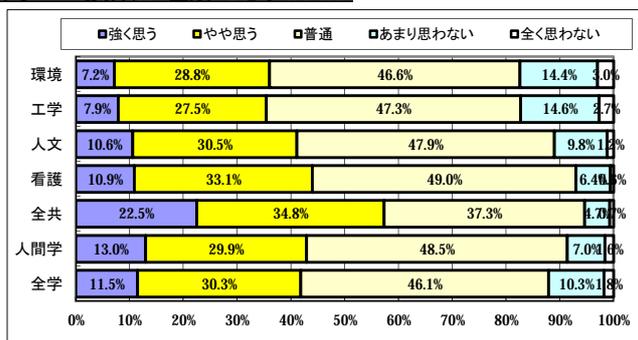


環境科学部、工学部では、「やや高度」以上が40%を超えているが、全体として、「適度」とする割合が増加した。

特に工学部、人間看護学部、人間学においては3%以上の増加となった。

全学共通は、単純に国際教育センターと比較できないが、「適度」が減少し、「やや高度」「やや低度」が増加している。

設問6 授業は理解できましたか



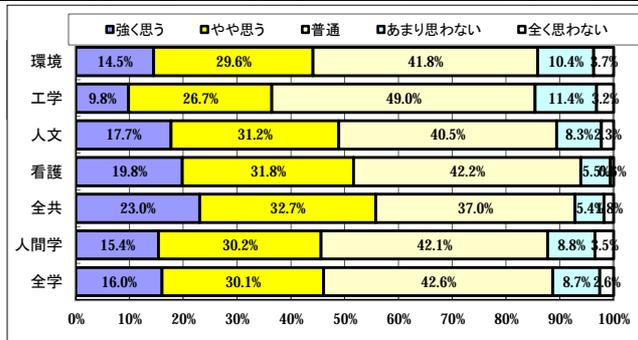
概ね授業は理解できているが、環境科学部、工学部においては2割近い学生が不安を持っている可能性がある。

前年度同期と比べると、「強く思う」が少し増加し、「あまり思わない」とする回答がやや減少した。

「あまり思わない」「全く思わない」は減少している。

H22前期 H23前期 H23前期
全学 18.7% → 16.3% → 12.1%

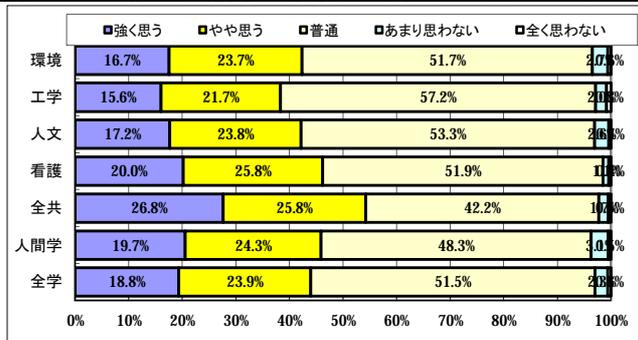
設問7 授業で扱った内容をより深く学びたい気持ちになりましたか



半数近くが深く学びたいと思ったと回答しているが、問5に比例して環境科学部や工学部で否定的な意見がやや多い。

前年度同期と比べると、「強く思う」とする回答の合計は増加し、「あまり思わない」とする回答の合計が減少した。

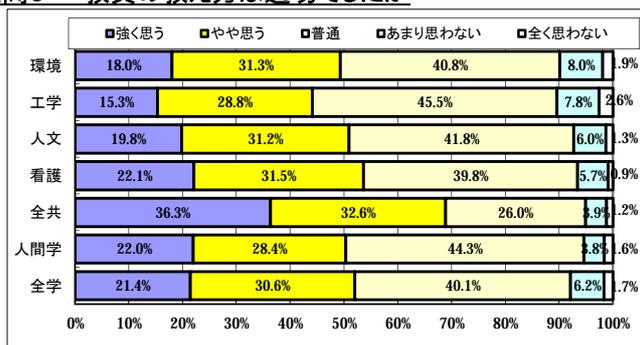
設問8 この授業は履修の手引きの内容と一致していましたか



否定的な回答はどの学部等でも非常に少なかった。

前年度同期とほぼ同じ分布だが、「強く思う」とする回答は、全学部等で少しずつ増える結果となった。特に看護では、5.4%増加した。

設問9 教員の教え方は適切でしたか



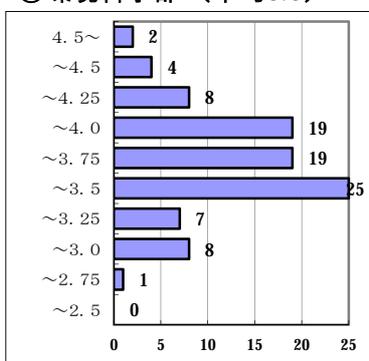
約半分の授業では満足が得られていたと思われる。また、前年度同期と比べると、ほとんどの区分で「強く思う」の回答が増えている。

	H22前期	H23前期	H24前期
環境	16.5%	17.5%	18.0%
工学	14.1%	13.9%	15.3%
人文	18.7%	19.8%	19.8%
看護	18.3%	19%	22.1%
全共	(33.0%)	(39.9%)	36.3%
人間学	13.7%	18.4%	22.0%

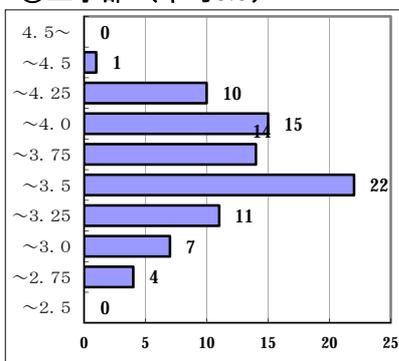
※ 設問9「教員の教え方は適切か」についての区分別分布

※ 縦軸:ポイント 横軸:科目数

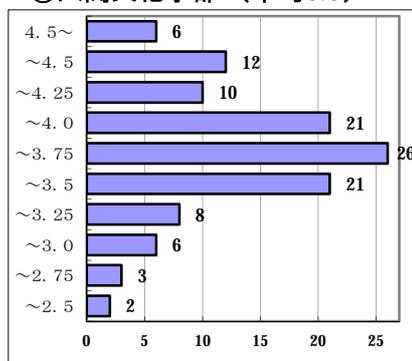
①環境科学部 (平均3.6)



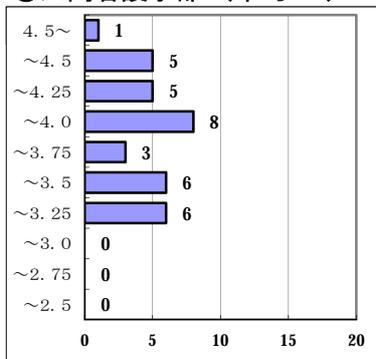
②工学部 (平均3.5)



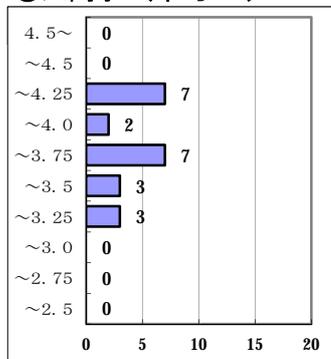
③人間文化学部 (平均3.6)



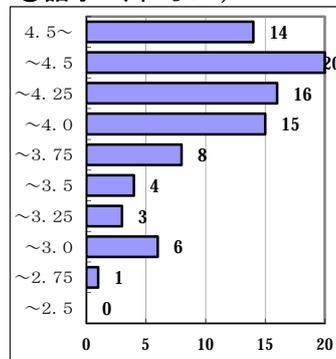
④人間看護学部 (平均3.7)



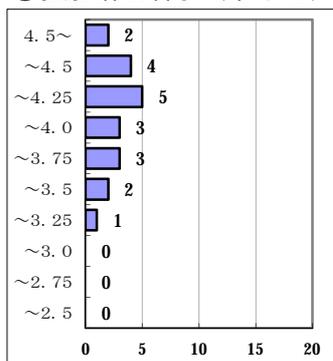
⑤人間学 (平均3.7)



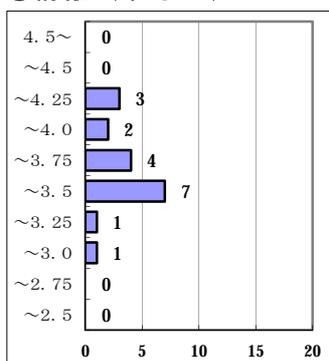
⑥語学 (平均4.0)



⑧健康・体力科学 (平均4.0)



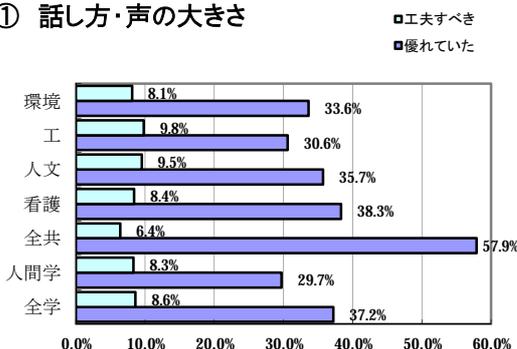
⑨情報 (平均3.6)



設問10 教員の教え方で優れていたところはどこですか(複数回答可)

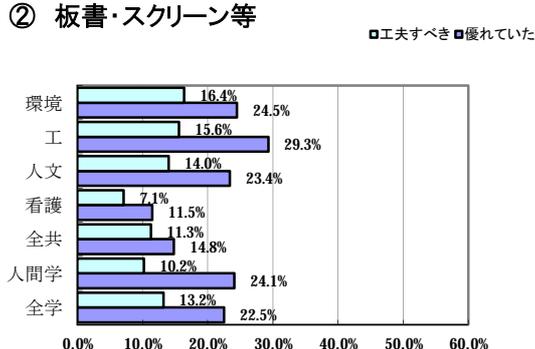
設問11 教員の教え方で工夫すべきところはどこですか(複数回答可)

① 話し方・声の大きさ



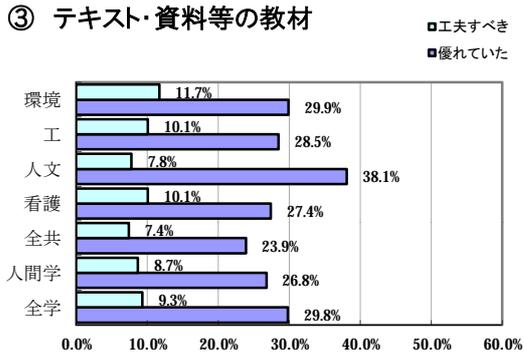
全学共通科目で57.9%となるなど「優れていた」という回答が多く、「工夫すべき」の回答は年々減少傾向にある。

② 板書・スクリーン等



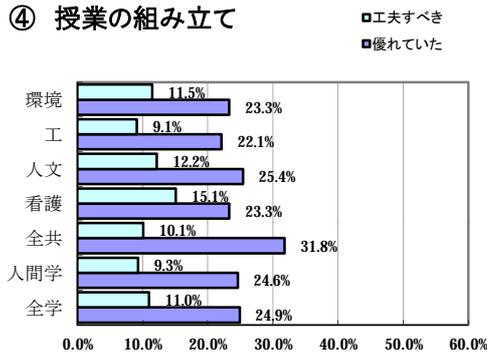
教員の個性がでるため「優れている」、「工夫すべき」という回答が拮抗しやすい設問であり、全体に「優れていた」が少ないが、年々改善が見られている。(H23前期16.6% → (H24前期13.2%))

③ テキスト・資料等の教材



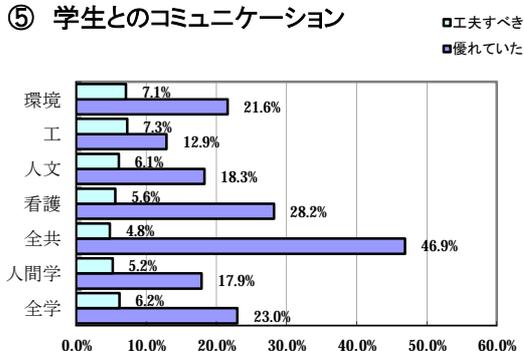
「優れていた」という回答は年により増減があるが、「工夫すべき」の回答は年々減少傾向にある。

④ 授業の組み立て



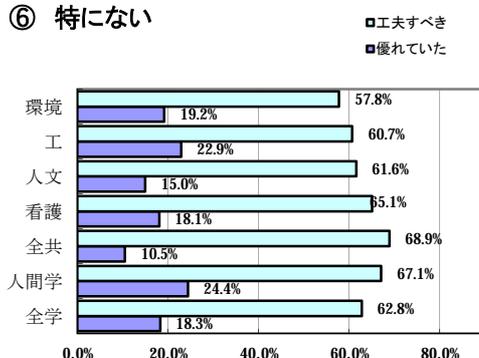
前年度前期とほぼ同様の回答となった。工学部では、前年度同期より「工夫すべき」という回答が2.5ポイント減少した。

⑤ 学生とのコミュニケーション



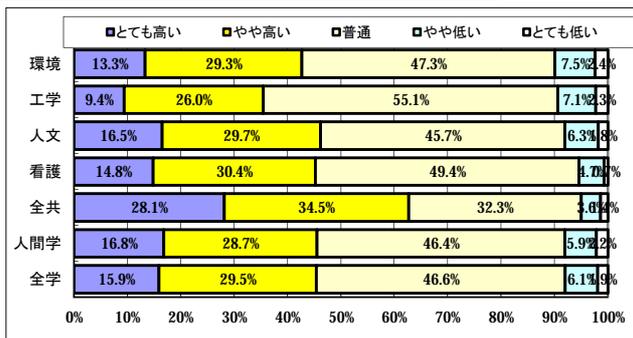
学生とのコミュニケーションは、引き続き良好な関係が維持されているが、学部等間に差が見られる。人間学は前年度同期より「工夫すべき」が7ポイント減少した。

⑥ 特にない



概ね6割以上が「工夫すべき」ところがないという回答であったが、逆に「優れていた」ところがないという回答も1.6ポイント増加した。

設問12 この授業の満足度はどの程度ですか

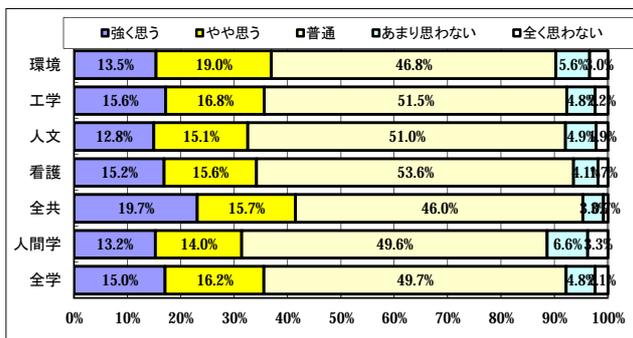


満足度は、全学共通で高く、工学部でやや低いという傾向であり、全学および各学部等とも、前年度同期とほぼ同じ分布となった。

全学共通は、単純に国際教育センターと比較できないが、「とても高い」の割合が大幅に減少した。

	H22前期	H23前期	H24前期
全共	35.6%	→ 41.3%	→ 28.1%
全学	12.4%	→ 14.2%	→ 15.9%

設問13 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して適切な処置をとりましたか



各学部で、同じような傾向を示している。「やや悪い」「とても悪い」が、全学平均で約7%、特に人間学と環境科学部において高い傾向がある。

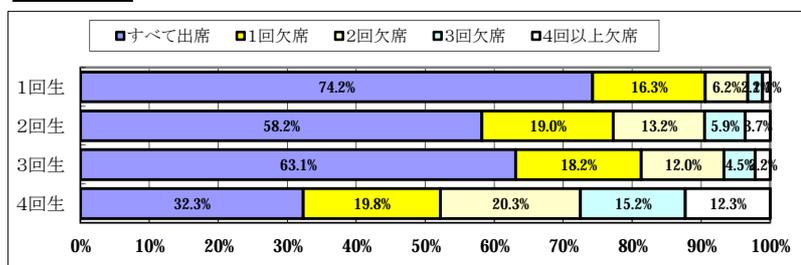
(4) 学生属性(学年別)の集計

	環境	工	人文	看護	計
1回生	2,124	2,264	2,702	755	7,845
2回生	1,394	1,276	1,674	708	5,052
3回生	1,179	1,252	1,160	993	4,584
4回生	217	254	137	26	634
合計	4,914	5,046	5,673	2,482	18,115

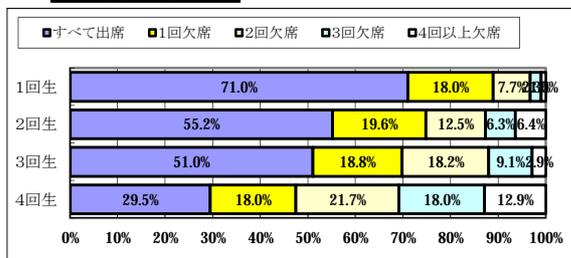
※ その他(回答数:730)は大学院生
または学部・学年が不明

Q1 どれだけ出席したか

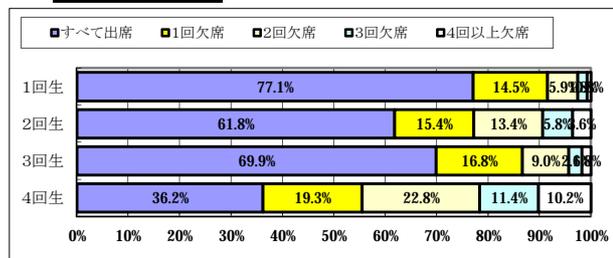
全学



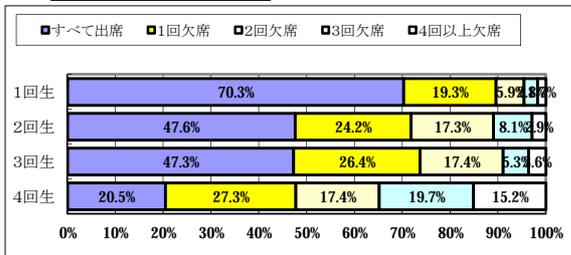
環境科学部



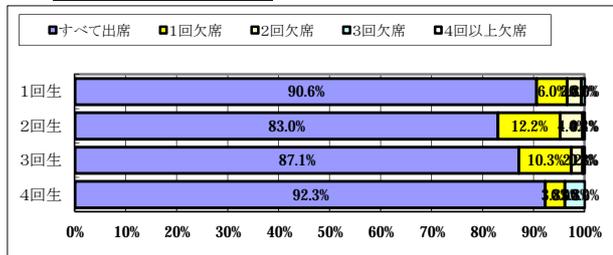
工学部



人間文化学部



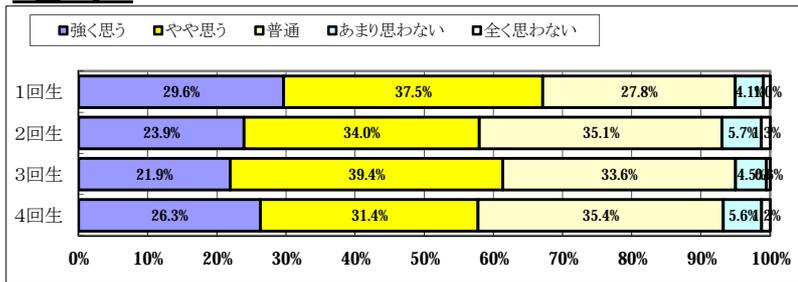
人間看護学部



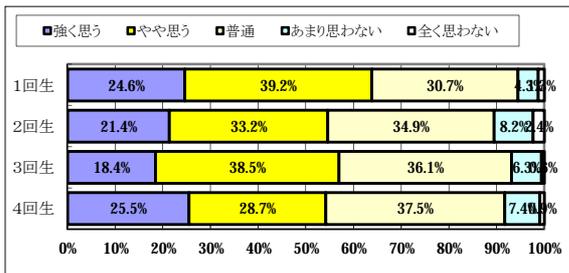
3年前までは、人間看護学部を除く3学部においては1回生が最も出席状況が高く、高学年になるにつれ出席状況は低くなっていたが、前年度からは前期において全学の平均で3回生の出席状況が2回生を上回っており、その傾向が続いている。

Q2 受講態度は真剣だったか

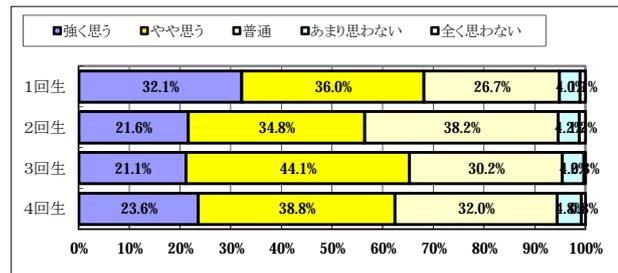
全学



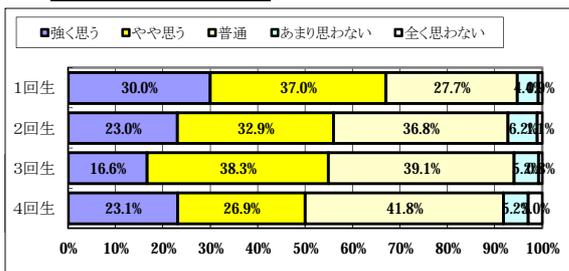
環境科学部



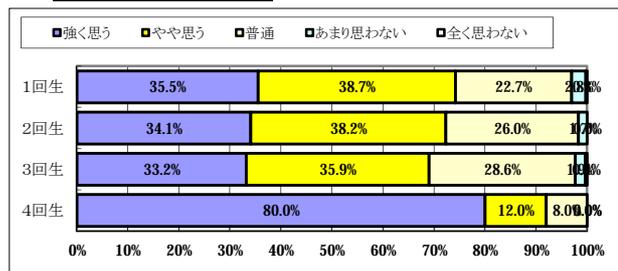
工学部



人間文化学部



人間看護学部



全学としては、4回生と1回生で「強く思う」の割合が高い傾向にある。

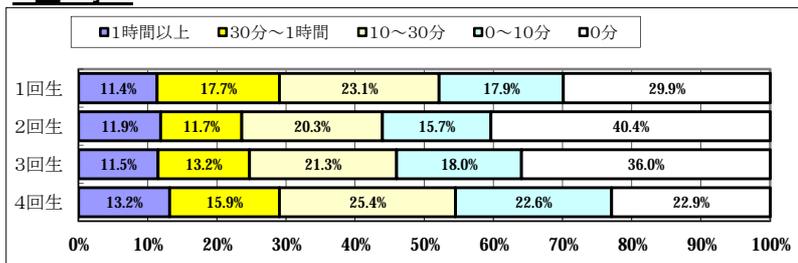
また、「全く思わない」とする回答が、看護を除く3学部で、4回生で上昇傾向が見られた。逆に、4回生では看護を除き「強く思う」のポイントが減少した。

特徴的な「強く思う」4回生のポイントの推移

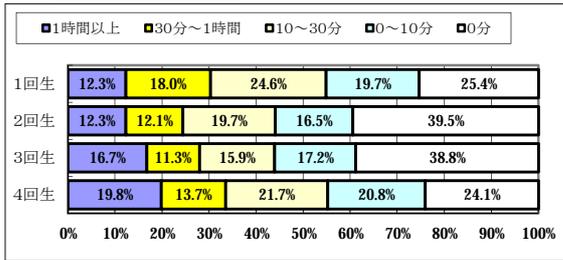
	H22前期	H23前期	H24前期
工学部	28.1%	17.5%	23.6%
人間看護学部	57.1%	45.5%	80.0%

Q3 当該授業に対する毎週の学習時間

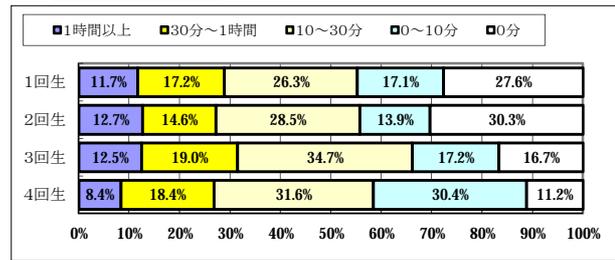
全学



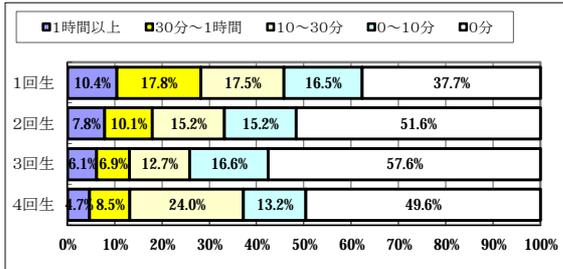
環境科学部



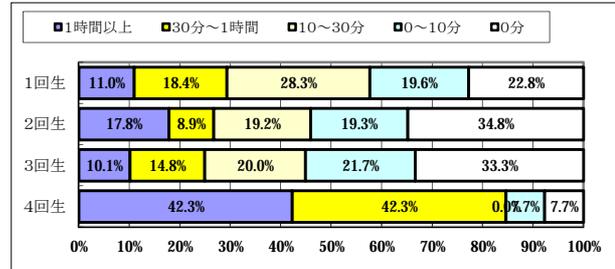
工学部



人間文化学部



人間看護学部



全学で0分～10分までが、2、3回生では55%程度であり、1、4回生でも45%を超えている。

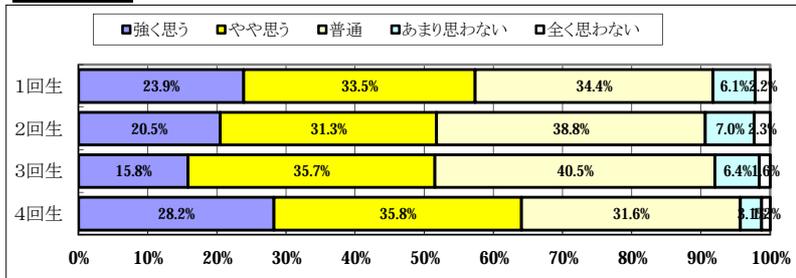
従来は低学年ほど学習時間が少ない傾向であったが、前年度前期と今回は2回生の学習時間が最も少ない結果となった。

環境科学部では4回生の学習時間が減少している。また、人間文化学部では、「0分」とする割合が他学部に比べて高く、人間看護学部は比較的学習時間が長い。

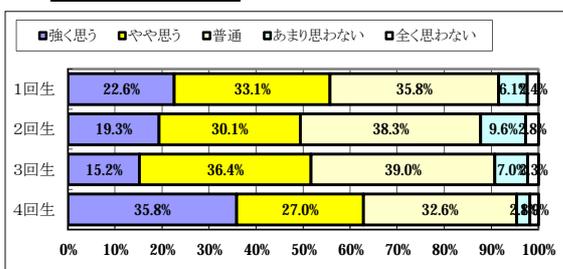
全体的に学習時間を増やす工夫が望まれる。

Q4 興味を持てる内容だったか

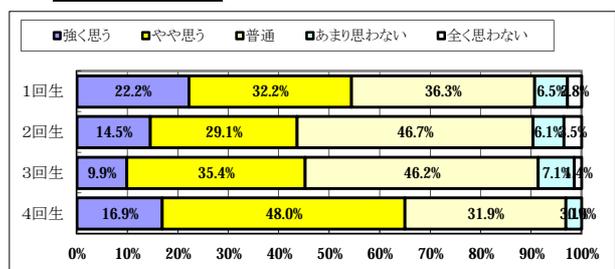
全学



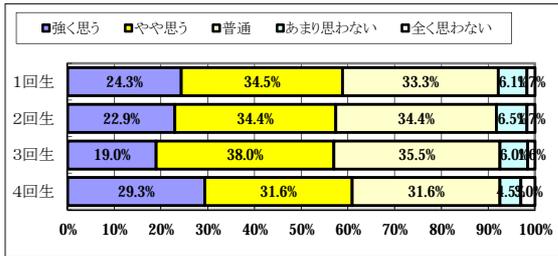
環境科学部



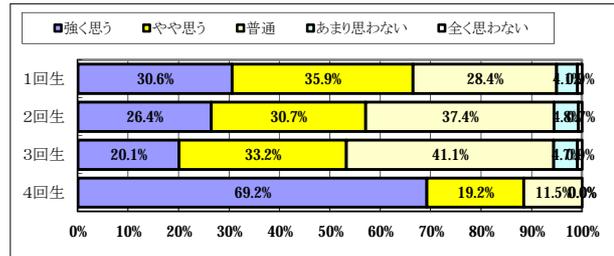
工学部



人間文化学部



人間看護学部

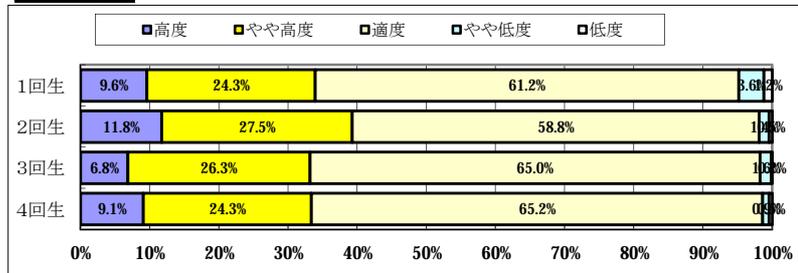


高学年になるに従い、興味を持つ割合が高くなる傾向にある。

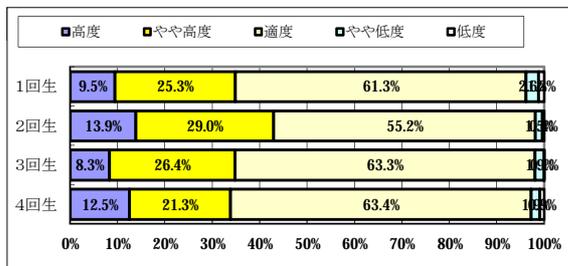
「あまり思わない」「全く思わない」とする回答は少ないものの、前年に比べ人間文化学部の4回生では「強く思う」が減少し、「全く思わない」が増加した。

Q5 授業レベルはどうだったか

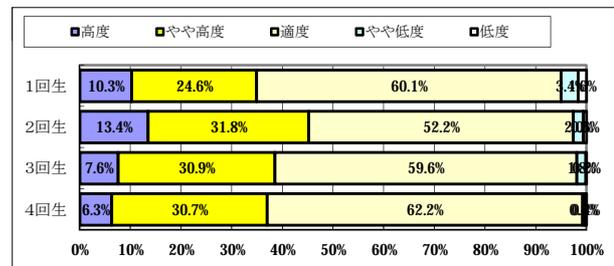
全学



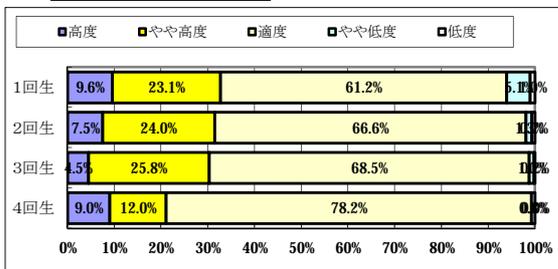
環境科学部



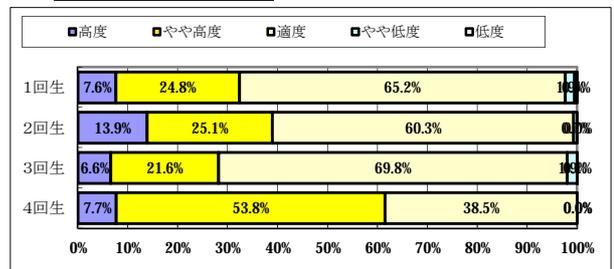
工学部



人間文化学部



人間看護学部



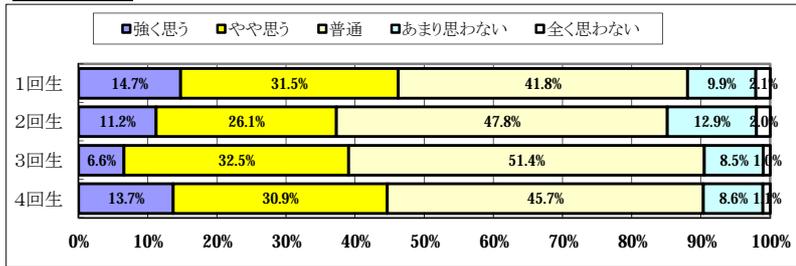
「適度」「やや高度」とする回答が8割以上を占め、従来と同じような割合で推移している。

人間看護学部において、1～3回生で「適度」とする回答が増加しているのに対し、4回生では「やや高度」とする回答が半数を超えた。

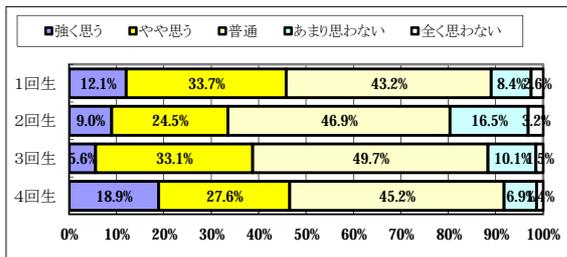
「低度」「やや低度」とする回答は少ないものの、看護を除き1回生でそう感じる割合が数%ある。

Q6 授業内容は理解できたか

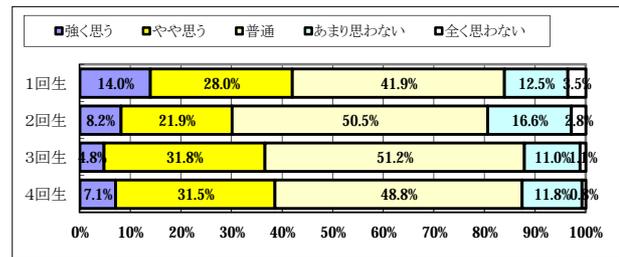
全学



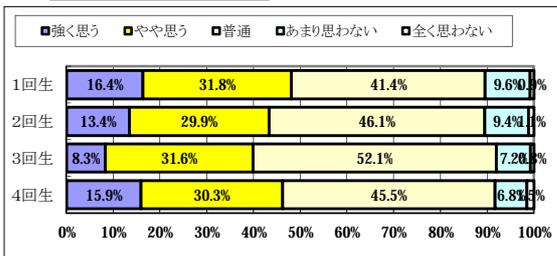
環境科学部



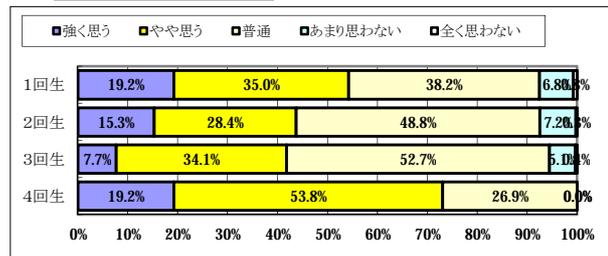
工学部



人間文化学部



人間看護学部

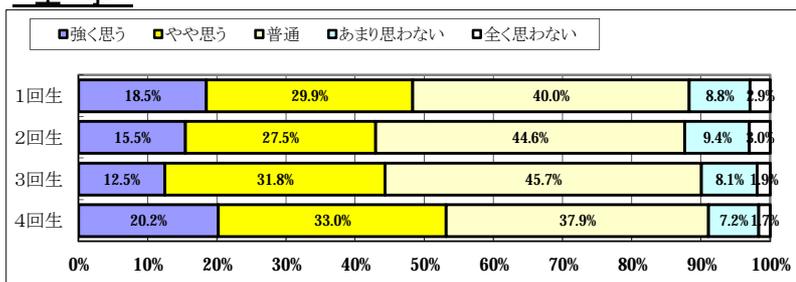


「あまり思わない」「全く思わない」とする回答が、すべての学年で15%以下となっており、減少傾向にある。学部別では、環境科学部2年生および工学部2年生で「あまり思わない」「全く思わない」とする回答が約2割と他学年や他学部比べて多い。両学部とも、前年度同期の1年生も「あまり思わない」「全く思わない」とする回答が多かった。

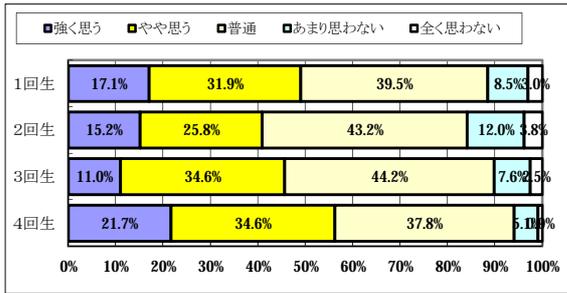
人間看護学部は、Q5で授業レベルが「やや高度」とする割合が高かったが、授業内容は理解できたとする回答が多い。

Q7 より深く学びたくなったか

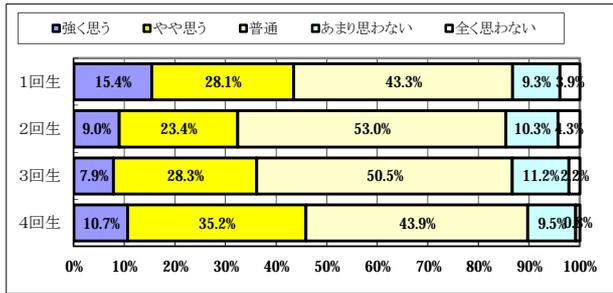
全学



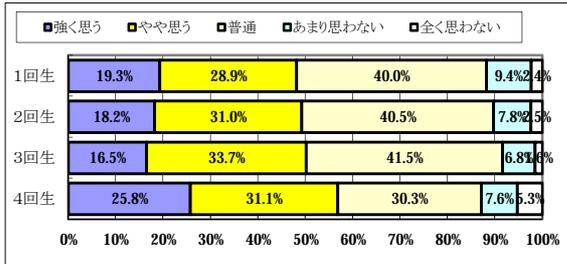
環境科学部



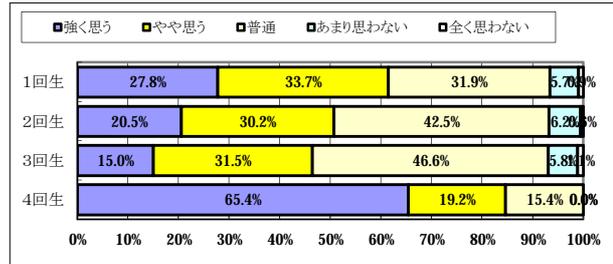
工学部



人間文化学部



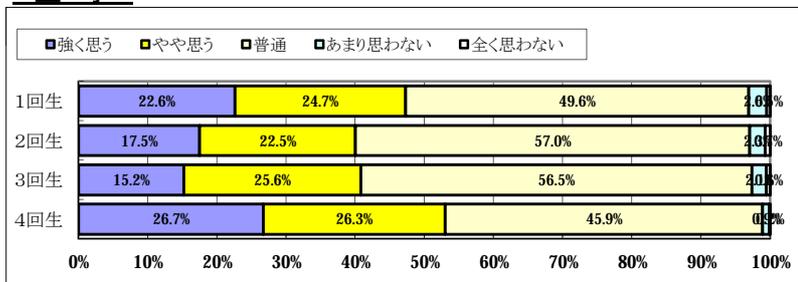
人間看護学部



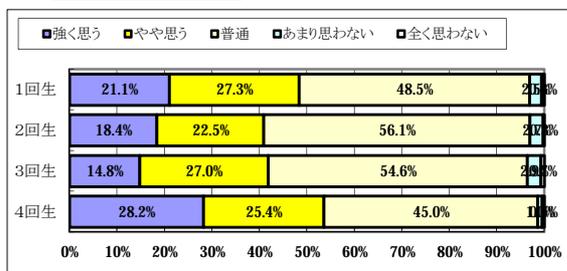
総じて4回生のポイントが高く、前期においては、学部を問わず3回生がやや低調な傾向にある。
人間看護学部の4回生は「より深く学びたくなった」とする回答が、37.5から65.4へ、27.9ポイント増加した。

Q8 履修の手引きと一致していたか

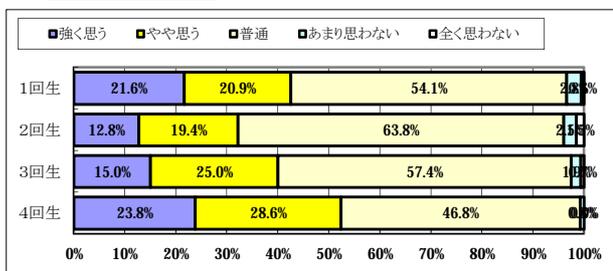
全学



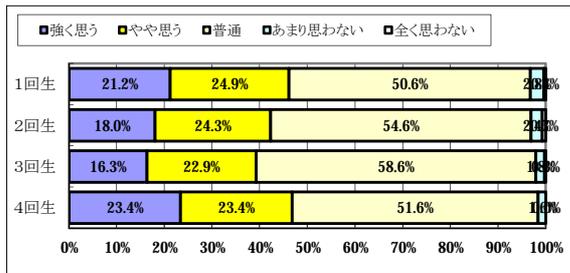
環境科学部



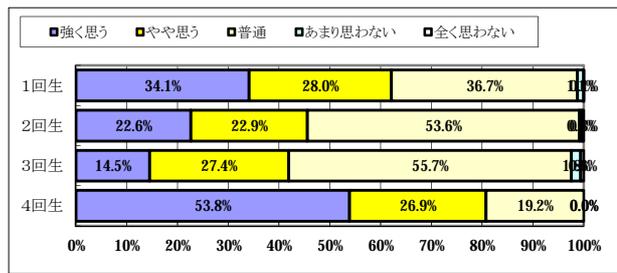
工学部



人間文化学部



人間看護学部

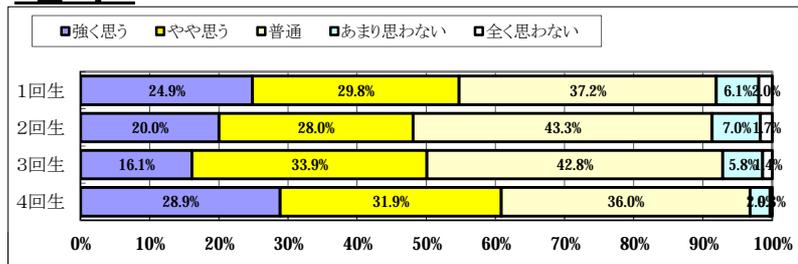


例年と同様、否定的な回答はほとんどない。

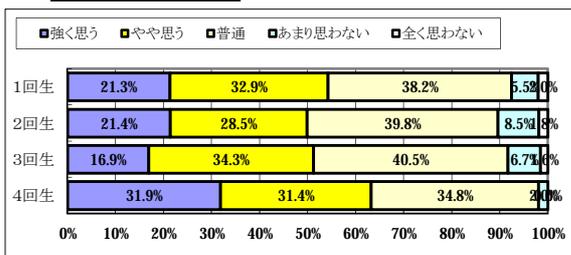
講義概要を読んだ学生の期待に添わない授業内容はほとんどなかったと思われる。特に人間看護学部の4回生は、半数以上が履修の手引きと全く一致していたと回答している。

Q9 教員の教え方は適切か

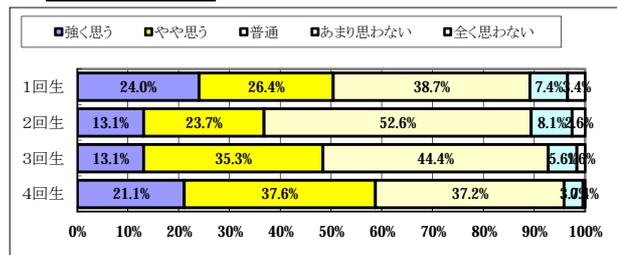
全学



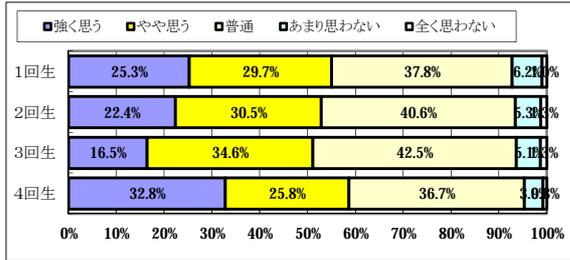
環境科学部



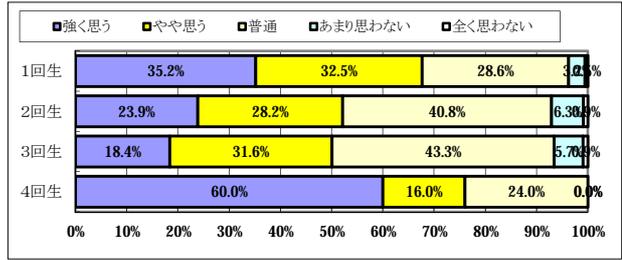
工学部



人間文化学部



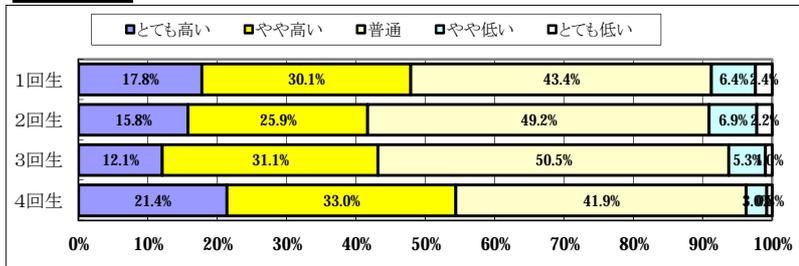
人間看護学部



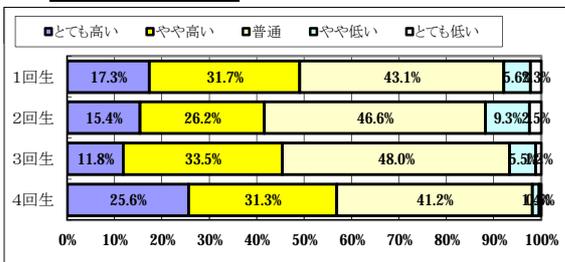
「強く思う」の割合は4回生で高い。全体的には前期においては2、3回生に落ち込み傾向がある。工学部の2回生は、「強く思う」「やや思う」の割合が他学年、他学部比べて低い。

Q12 授業の満足度

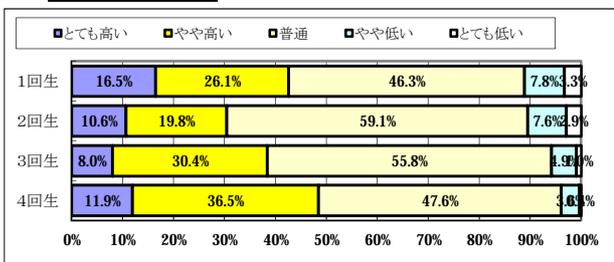
全学



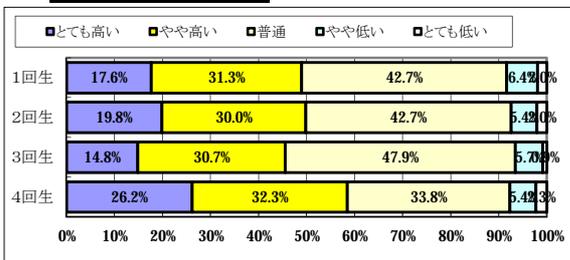
環境科学部



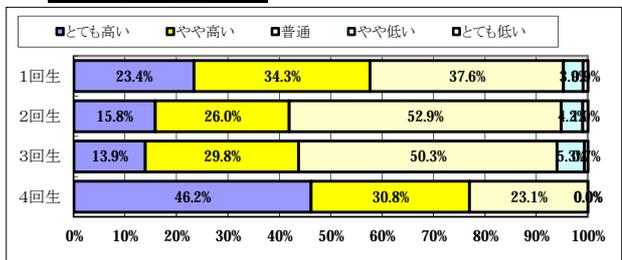
工学部



人間文化学部



人間看護学部

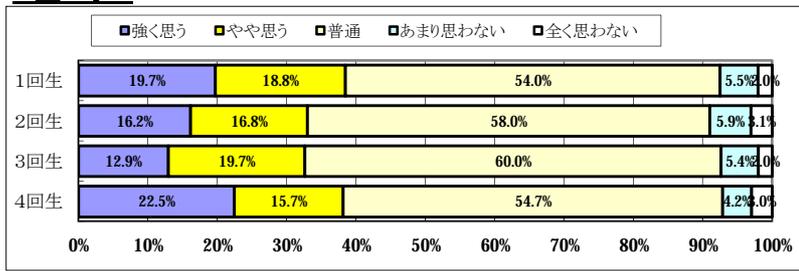


例年通り、4回生に肯定的な意見が最も多く、前期においては3回生に落ち込みが見られる。概ね9割以上の授業で満足が得られていると考えられるが、低学年にいくほど満足度が「とても低い」との回答が高くなる傾向がある。

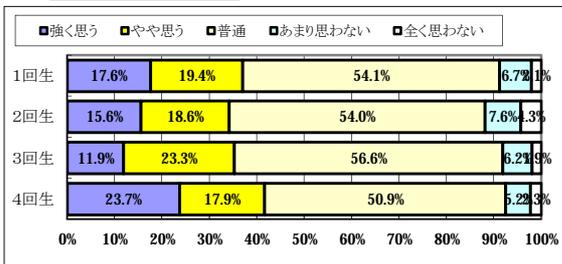
入学時の授業への期待と現実の授業とのギャップの可能性もあることから、検証が望まれる。

13 教員は、授業中の迷惑行為(私語や携帯電話等)に対して適切な処置を取りましたか

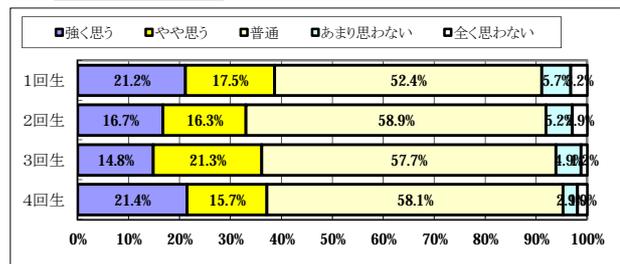
全学



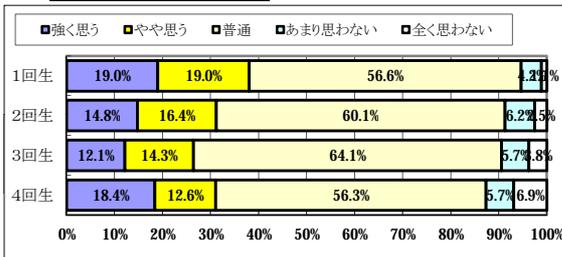
環境科学部



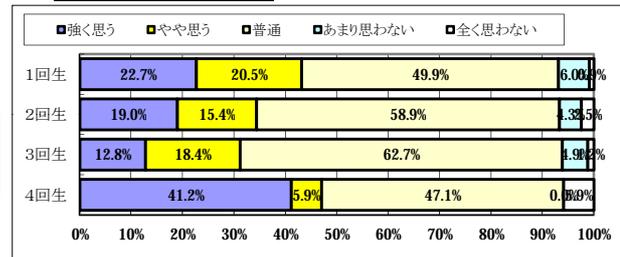
工学部



人間文化学部



人間看護学部



本年度から追加した設問である。

授業中の迷惑行為に対して、概ね1割程度の授業においては適切な処置がとられていないと感じている傾向があり、授業を受ける際の基本的なマナーでもあり、教員、学生のサイドから何らかの対策が望まれる。